

衆議院議員 社会民主党  
**辻元清美 国政報告 NEWS**  
 つじとも通信 VOL.16  
 2009.10.5



**社会新報**  
 Social Democratic Party  
 衆議院議員 社会民主党 国政報告 NEWS  
 〒100-8900 東京都千代田区永田町1-6-1 電話 03-3508-7055 FAX 03-3508-3855  
 〒100-8900 東京都千代田区永田町1-6-1 電話 03-3508-7055 FAX 03-3508-3855

[高槻事務所] 〒569-0805 大阪府高槻市上田辺町6-20 寺本レヂデンス2F TEL 072-685-0631 FAX 072-686-2396  
 [国会事務所] 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館305号 TEL 03-3508-7055 FAX 03-3508-3855  
 URL ●http://www.kiyomi.gr.jp/ E-mail ●info@kiyomi.gr.jp 本誌の記事、写真等の無断転載・複写を禁じます。

**辻元清美の巻頭言**



山のような予算書。これを政治主導でイチから書きかえる。税金のムダ使いをなくし、優先順位を暮らし優先に変えます!

「政治を変えたい」という多くの人たちの意思が歴史を動かした結果です。私も働く仲間やボランティアの方々と熱い夏の選挙を闘い、小選挙区で当選させていただきました。ご支援をいただいたみなさんと共に政権交代の二翼を担うことができました。

開票日、私は「嬉しい!」というより、責任が重く「厳しい!」という気持ちで一杯になりました。

そして今、私は国土交通副大臣として新しい政府のど真ん中で格闘する日々を送っています。

思い起こせば二年前の参議院選挙の与野党逆転以来、民主党・民主党・国民新党の三党で「国民の生活再建」を旗印に政策議論を積み重ね、政権交代を目指して邁進してきました。

そして、いよいよその実現の時に巡ってきたのです。

後期高齢者医療制度や障害者自立支援法の廃止、アニアの殿堂などムダなハコモノの見直し、生活保護の母子加算の復活、選択的夫婦別姓の実現、外務省の核密約の解明、辺野古新基地建設の見直し、地球温暖化対策の強化、天下りの

山のような予算書。これを政治主導でイチから書きかえる。税金のムダ使いをなくし、優先順位を暮らし優先に変えます!

禁正など、選挙で訴え連立政権で政策合意した中身を実現するために、新政権スタートの日から動き出しています。

「コンクリートから人へ」税金の使い道を変える最前線の国交省で、就任翌日から麻生政権の補正予算のムダを削る作業を開始。そしてハッ場ダム問題やJAL再建問題の渦中で、連日、大臣・副大臣・政務官の政務二役で対応を協議しています。

副大臣認証式の九月一八日夜、早速、副大臣会議が開かれました。一カ月前までは野党として自公政権と闘ってきた仲間たちが官邸にずらりと並んだのです。みんな正装なのですが、多くの人の靴はぼろぼろ。激戦の末の政権交代の証だと思えました。

そして官僚の振り付けなしに今後の政権運営について初日から自分の言葉での議論が自然に始まりました。「革命」みたいだと論評する人がいますが、私

も日に日にそんな思いを強くしています。

民主党からは、福島党首が消費者庁、男女共同参画、少子化や自殺対策などの担当大臣、そして私は運輸や観光などを担当する国交副大臣。二人とも国民生活と直結した分野です。

そして、護憲や沖縄基地問題の市民運動や労働運動で活躍してきた服部良一さんが近畿ブロック比例区から一緒に当選されました。兵庫八区で立候補した市来ばんこさんは惜敗でしたが、服部さんの秘書として国会で一緒に働くことになり、惜しくも負けた保坂展人さんの秘書の大久保青志さんが私の秘書として国会事務所入りしてくれました。

さて、これから本番です。さらにパワーアップして仲間と力を合わせてがんばります。みなさんの変わらぬご支援よろしくお願ひします。

**政権交代! さあこれからです!**  
**国土交通副大臣に就任しました。**

**きよみ!**  
**インフォメーション**  
**清美が語る [永田町航海記]**  
**新政権のめざすこと**  
**11月8日(日)**

**【島本】**  
 14:00 ~ 15:30  
 島本町ふれあいセンター視聴覚室

**【高槻】**  
 18:30 ~ 20:00  
 高槻現代劇場(旧館)305号室

おこたわり: 国土交通副大臣に任命されましたので、重大な災害などが日本のどこかで起こった場合や緊急の公務が入った時は、中止になる場合もあります。



海上保安庁や鉄道局など国交省の各セクションから予算の内容などの説明を受ける。観光庁には「日本をトータルに売り出そう」など、未来指向の辻元提案も

**お願い**

副大臣規範というものがあまして、これまで以上に身を律することが求められています。関係者との食事なども厳しく制限されていて、贈り物(飲食物も含めて)も辞退させていただきます。ご理解いただきますようお願いいたします。

**郵便振替 00960-3-150256**  
**加入者名 辻元清美とともに!**  
**市民ネットワーク**

※政治資金規正法により、寄附金は日本国籍の個人に限られています。

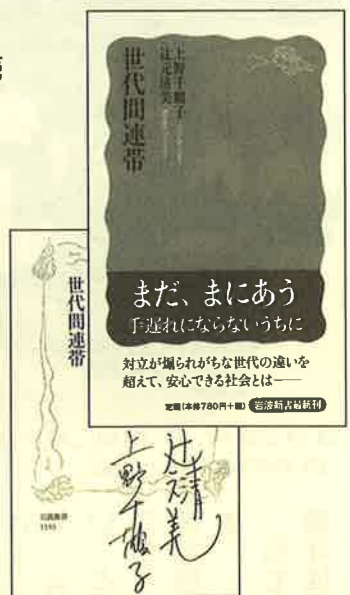
**『世代間連帯』サイン本限定販売!**

7月22日に発刊以降順調な売行きを続けている『世代間連帯』(岩波書店)、上野千鶴子さんと辻元清美の直筆サイン本を販売します。

限定50冊。同封の返信用ハガキか電話かFAX、メールでお申込みください。

メ切: 10/20(火)  
 \*応募多数の場合は抽選となります。発送をもって発表にかえさせていただきます。

定価: 819円 送料: 80円  
 お申込みは→tel: 072-686-2395  
 fax: 072-686-2396  
 E-mail: info@kiyomi.gr.jp  
 (件名に「世代間連帯申込み」と書いてください)



**きよみ語録**

9月18日の認証式の様子をテレビや新聞でご覧になった方も多いと思います。珍しいスカート姿でしたが、あれは大慌てで議員宿舎を探して見つけ出した4年前のもの。コサージュはスタッフが赤坂の街を走り回って買い求め、式の30分前に届けたもの。「女性はロングドレス」と決まっているそうです。なんでスーツじゃあかんのやろ?

**つじともネット会員募集中!**

会報「つじとも通信」を年2~3回お届けするほか、国政報告会「永田町航海記」などのご案内を申し上げます。

一般会員: 年 3,000円  
 サポート会員: 年12,000円  
 ※毎月1,000円の郵便貯金自動引き落としもご利用いただけます。  
 学生会員: 年 1,000円

個人特別賛助金: 年50,000円/一口 (上限30口迄)

※団体・法人からの会費・寄附金のお申し込みはできません。

郵便振替 00960-3-150256  
 加入者名 辻元清美とともに!  
 市民ネットワーク

# 清美に聞く

## 新政権のエンジン役としてがんばります。

**Q. 連立政権の政策協議で、社民党はどんな役割を果たしたのですか。**

**清美:** 投票日の翌々日には国会へ。連立協議の渦中に飛び込みました。社民党・民主党・国民新党の連立政権の間に実現する政策を決めていくんです。すでにこの二党で選挙前に共通政策をつくっていましたが、それをさらに深めていきました。私たちは雇用対策や地球温暖化対策強化、非核政策、憲法などの項目を提案し、盛り込むことができました。そして最後に日米地位協定や辺野古新基地建設の見直しを協議し、まとまりました。ある共産党の幹部が「よくできている」と評価していたと聞きました。日米地位協定や沖縄問題を明記できたのは、社民党の粘り強い提言があったからなんです。

### 合意文書に盛り込んだ「沖縄の負担軽減」

**Q. 「社民と民主は外交・安保政策が違つたら連立なんてできるのか」と疑う声もありました。「社民党が協議を引き延ばしている」とメディアは報じました。**

**清美:** 二年前の参議院選挙以降、事実上三党はいつしよにやってきました。安保・外交政策もほぼ同じ。例えば米軍再編関連法案、思いやり予算、GRAM協定、さらに憲法審査会の設置についても、三党とも国会では反対の立場でした。日米地位協定にいたっては、今回社民党の近畿比例で当選した服部良一さんを中心にたたき台をつくり、当時幹事長だった鳩山総理をはじめ三党の幹事長がとりまとめました。



9月28日、JR 福知山線脱線事故情報漏洩問題でJR 西日本社長と面談。

私もスタッフも連休は返上、朝から晩まで国交省の担当者と膝を突き合わせ、予算執行の優先順位を検討しました。コストカットとなりムダ遣いを一円でも探す毎日です。

**Q. 女性初の国会対策（国対）委員長という、国会の「戦闘隊長」に選ばれたということですが。**

**清美:** 確かに、自民党や民主党、社会党時代を含めても女性はおらず、まさに「男の世界だったんですね。

私は、「多数の暴走を許さない、少数者の痛みを知る国会運営をめざそう」と与野党に呼びかけました。少数政党への配慮は民主主義の基本。「やられたからやり返す」のではなく、自公政権が三分の二以上の数でおし切ってきた国会運営のあり方を反面教師に「政策転換だけでなく国会運営から政権交代を示して行こう」と呼びかけていた矢先に……。

**Q. 国土交通副大臣に指名されたのですよね？**

**清美:** はい。実はこの人事、一度はお断りしたんです。私は初の与党国対委員長会談を行い、国対の役割が重要になると確信したばかりだったんですよ。どんなに立派な政策をつくっても、国会を通らなければ意味がない。しかも自民党は早くも攻勢をしかけてきていますから、これは大変だと。でも福島党首や鳩山総理から「いつしよにやろう」と声をかけられ、決断しました。

### 「政治主導」で膨大な政務の中核に

**Q. 今まで以上に忙しく、責任が重くなったのでは。**

**清美:** 副大臣は新政権の「エンジン役」です。「政治主導」をつたう新政権では予算も作る、各省庁と各党の政策決定をとりまとめる、野党への説明や記者会見も（官僚にやらせるのではなく自ら行う）、膨大な政務の中核という位置づけに。「この予算の使い方はおかしい」と思えば凍結できる、まさに政策実現の最前線です。

そして前原誠司大臣や馬淵澄夫副大臣、三人の政務官の方々は、連日会議、会議。国交省は予算規模も大きく、ダム問題やJAL再建問題など緊急で国民生活に直結する課題を抱えていますから、余計に緊張感と覚悟が必要です。



9月18日、副大臣認証式のあと首相官邸にて。

### 24時間態勢で危機管理にも対応

**Q. なかなか地元に戻れませんか。**

**清美:** 地元のみなさんにこそ一番に報告したいと思うのですが、「公務最優先でがんばれ」と励まされています。私の担当は主に運輸や観光、緊急時の対応。海上保安庁や気象庁、北海道開発も私の担当です。日常生活も変わりました。例えば大臣が視察などで東京を離れるときは、代わりに東京にいなければなりません。大地震が起きたり、海難事故が起きたりすれば、まず国交省や官邸にかけつけ、ときには現場に飛んで指揮を執る立場なのです。「四時間緊張して、携帯電話の連絡を待つ生活です。

**Q. 「社元清美が国交省？」と意外に受け止められる声も大きいのでは。**

**清美:** 私の担当する運輸政策は、福祉産業であり、環境産業です。そして観光は内需を拡大するエンジンであり、平和産業。ピースポーターでの国際交流の現場経験なども生かし、人と人とのネットワークづくりで、日本を世界を元気にしていきたいと思っています。

### 風通しのよいパートナーシップを

**Q. 「脱官僚」が大きなテーマです。**

**清美:** 実はその言葉はあまり好きではないんです。政治の

側にこそ責任があったのでは。今回の政権交代を、政と官が風通しのよいパートナーシップを築ききうかけにしたい。私はフットワーク軽く、いつでもどこでも現場に出かけていきたい。そして、市民のみならずNPOとつながりながら政策立案していきたいと思っています。それが政治主導、民主主義だと考えるからです。

## 政権交代への12日間

START



8/18 JR高槻駅前を出発



8/20 大前英世大阪府議会議員と



8/23 福岡政行さんと



8/25 ▲民主党の岡田外相(現)と菅代表代行も続々高槻入り▼



8/22 亀井静香国民新党代表と福島党首



8/24 各地で開いた個人演説会



8/26



8/28

香山リカさんと佐高信さん



8/29

最終日、福島党首と



8/30

清美とGO!